

# 東京モーターショー来場者拡大策について審議・意見交換 各団体が来場者拡大向け取り組むことで一致



## 会議所ホームページの改定概要を説明

### 第1回 特別委員会開催

特別委員会でTMSの概要などの説明の前に挨拶をする日本自動車工業会の鈴木庸弘調査役

**日** 本自動車会議所は8月29日、東京・港区の日本自動車会館「くるまプラザ」会議室で平成29年度第1回特別委員会（委員長＝島崎有平・日本自動車販売協会連合会常務理事）を開催し、東京モーターショー（以下、TMS）来場者拡大策、会議所ホームページの改定概要——の2つを議題として審議・意見交換を行った。

メインの議題であるTMS来場者拡大策については、主催者である自工会からのTMS開催概要説明に続いて、自動車会議所より、各団体のホームページ（HP）や機関誌へのTMSの紹介や、支部・会員へのTMS開催情報の展開などを出席団体に依頼し、内容について了承された。

日本自動車会議所は、特別委員会において、平成28年度から自動車産業の人材確保について取り組んでいる。初年度の平成28年度は、全国で開催されるクルマ好きの若者などを対象とした自動車イベント約600件の調査を行い、団体主催の多くのイベントは単独開催のため情報発信の広がりに限界があり、来場者拡大につながりにくい状況であることが分かった。そのため、その対応策として、自動車関連団体の連携によるPR活動の強化を中心に検討を行ってきた。

今年は自動車業界の最大のイベントであるTMSが開催される。本特別委員会は、当イベントを「クルマ」への関心度向上のまたとない機会としてとらえ、各団体が連携した来場者拡大に向けた取り組みの第一歩として活用するべく開催となったものである。

なお、本委員会は、団体間の連携を広げる観点から特別委員以外の団体にも広く出席を招請し、18団体より23名が出席した。

#### 【議事要旨】

1. 東京モーターショー開催概要の紹介と来場者拡大への協力について
  - (1) TMS開催概要  
（日本自動車工業会・鈴木庸弘調査役説明）
    - ①第45回TMS2017開催概要

会場：東京ビッグサイト

会期：2017年10月27日（金）～11月5日（日）

(1)プレスデー

10月25日（水）8時00分～18時00分

10月26日（木）8時00分～13時00分

(2)特別招待日／

障がい者手帳をお持ちの方の特別見学日

10月26日（木）13時30分～18時00分

(3)オフィシャルデー（開会式等招待者）

10月27日（金）9時00分～18時00分

(4)プレビューデー

10月27日（金）12時30分～18時00分

(5)一般公開日

10月28日（土）～11月5日（日）

月～土曜日（祝日含む）

10時00分～20時00分

日曜日 10時00分～18時00分

## ②ステートメント(宣言)

自動車業界を取り巻く環境は大きく変化しており、画期的なテクノロジーが次々と生まれ、人と自動車の関係も多様化している。TMSが次世代モビリティ社会においても発信力のあるイベントであり続けるため、今回以下のステートメント(宣言)を発表し、主催者としてTMSに対する思いを表現した。

クルマの進化は、これからどこへ向かうのだろう。その答えは、きっとひとつではない。もしかしたらそう遠くない未来、クルマという概念は今とはまるで違うものになるかもしれない。

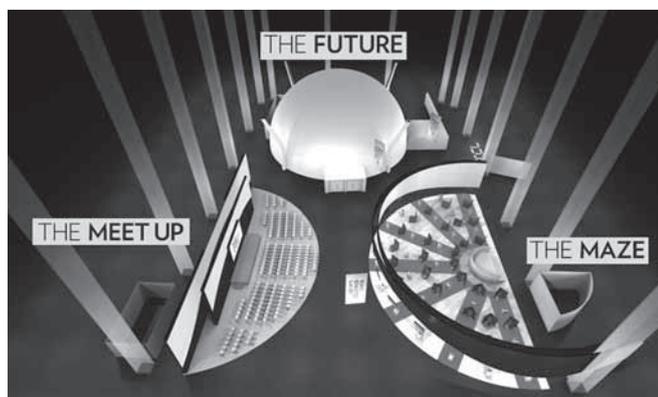
けれど、思い出そう。クルマの本質とは何かを。それは人を動かすものだ。ココロを動かすものだ。私たちの可能性をひろげ、自由にするものだ。クルマが変われば人やモノだけでなくもっと多くのものを動かせる。社会を前進させ、境界を超えて世界をもっと自由にできる。

だからこそ東京モーターショーは、クルマという枠を超えて生まれ変わろうと思う。世界最先端のナレッジがぶつかりあい、新たなイノベーションやビジネスを生み出すイベントへと進化する。時代とともに成長しながらモビリティ産業の次のミッションを指し示す。

さあ、回転数を上げよう。あらゆる境界を超えて、クルマの未来を拡張していく冒険のはじまりだ。

## ③ショーテーマとロゴ

ステートメントの思いを表したショーテーマとロゴは次のとおりである。



図A 「TOKYOCONNECTED LAB 2017」展示イメージ

世界を、ここから動かそう。

TOKYO MOTOR SHOW 2017  
BEYOND THE MOTOR TMS

ロゴの「TMS」は東京モーターショーの頭文字で構成しており、これからのテクノロジーやモビリティ、さらには既存の枠を超えて様々な方向に拡張・発展していくことが表現されている。

## ④TMSの見所、新企画・主催者テーマ展示の紹介

業界の枠を超えて、モビリティの楽しさ、発展を表現するために自工会会員メーカーが一体となって検討した主催者テーマ展示「TOKYOCONNECTED LAB 2017」(図A)。お客様視点で解りやすく未来のモビリティ社会を体験していただく参加型プログラム。概要は以下の通り。

## 1. インタラクティブ展示「THE FUTURE」(図B)

メガシティ東京における2020年、さらにその先のモビリティ社会の俯瞰体験を大きなドーム型の空間で約300人が体験可能。

## 2. VR展示「THE MAZE」(図C)

体験者(お客様)視点で約30人が同じバーチャル空間で将来のモビリティ社会をネットワーク型VR試乗で体験いただく。

## 3. トークイベント(番組)「THE MEET



図B インタラクティブ展示「THE FUTURE」イメージ



図C VR展示「THE MAZE」イメージ

UP」

クルマ業界に加え様々な業界・分野のビジネスリーダー、トレンド・リーダーと将来のモビリティ社会を語り合うプログラム、同時にWeb上で番組配信し、情報発信を図る。

さらに、これまで好評だった試乗体験プログラムをお台場臨海エリアで拡大して行うことも大きなポイントである。お台場特設会場、センタープロムナード、メガウェブの3カ所で超小型モビリティ試乗体験、オフロード同乗体験、次世代技術体験、パーソナルモビリティ体験など用意している。

このほか、来場者サービスとして、東西展示棟間に加え、試乗会場へのシャトルバスも運行、東京モーターショー公式アプリでクルマファン向けコンテンツ、新規テクノロジーコンテンツ、混雑情報の提供など行う予定。

すでに公開しているTMSオフィシャルウェブサイト (<http://www.tokyo-motorshow.com>) は、9月21日の概要発表会に合わせて、さらに詳しい情報やコンテンツを掲載するので、ご期待いただきたい。

今回のTMSは、前回よりさらなる盛り上げを図り、前回の約81.5万人を上回る来場者の獲得を狙っていく。各団体におかれては、来場者の拡大に向けて特段のご協力をお願いしたい。

## (2) 来場者拡大への協力(事務局説明)

当会議所としても、TMSは自動車業界にとって最重要のイベントであり、業界一体となった盛り上げを図りたいと考えている。各団体に対して、TMS来場者の拡大に向けて、以下の具体的なお協力をお願いしたい。

- ①団体HPへのTMSバナーの掲載
- ②団体発行の機関誌、情報紙へTMS開催案内、最新情報の掲載
- ③団体主催イベントでのTMSの紹介
- ④TMS開催期間中、東京ビッグサイトにおける団体の会議開催ならびにTMS見学の実施
- ⑤団体支部・会員へのTMS開催情報の展開

## (3) 意見交換

意見交換では、出席団体より、すでに来場者拡大に向けて取り組みを始めている事例の紹介や、自工

会に対して、来場者拡大のためにはこれまで以上に早い段階での開催概要に関する情報開示が必要との意見などが出された。

島崎委員長からもTMSの来場者拡大は自動車業界の重要テーマであり、自工会・関係団体間と連携を強化していきたいと協力を促すコメントがあり、以上を踏まえ、各団体において、来場者拡大向け取り組みを行うことが了承された。

最後に、自工会より、今後TMSに関するリリースの早期提供、バナー掲載に関する積極的な情報提供のほか、割引チケット提供の支援などを行っていく旨の説明があった。

## 2. 自動車会議所のHP改定概要について(事務局説明)

当会議所は、8月に自動車産業の情報発信基地としてHP (<http://www.aba-j.or.jp>) を改定した。主な特徴は、会員団体・企業が行う展示会・講演会、会議・委員会、刊行物、交通安全、社会貢献、キャンペーン・表彰・記念日、人事などの情報を、トップページ=図D参照=に新着情報として掲載し、さらに検索ができるよう機能を追加した点である。

会員団体・企業会員に対しては、上記に関する情報提供と窓口担当者の登録を依頼しており、ご協力をお願いしたい。

また、併せて本HPの内容に対するご意見・ご要望についてもお願いしているところであり、HPの内容の向上に積極的に活用していきたいと考えている。

以上の内容が説明され、特別委員会は終了となった。



図D 会議所HPトップページ